

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
656	農業振興事務		01	一般会計	
			06	農林業費	
42	持続的で個性的な農林業を実践する		01	農業費	
			03	農業振興費	
		伊賀支所産業建設課	101	農業振興経費	
			01	農業振興事務経費	
担当者氏名	高島 幸生	連絡先	45-9119	細目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の交流と地域間交流を目的としてふれあい農業まつりを開催している農業まつり実行委員会。</li> <li>農作業受託組織であるいがまち担い手センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい農業まつりを開催することにより、地域住民の交流が深まり、一体感の高まりにより地域の振興が図れる。また、地域間交流も深まる。</li> <li>農作業受委託が推進されることにより、高齢者や後継者不足の農地の耕作放棄が防止されることにより、健全な農地環境が保たれる。</li> </ul>			
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい農業まつりを開催した実行委員会への補助。</li> <li>農作業受託組織であるいがまち担い手センターに運営補助を行い、無人ヘリコプター農業散布、大豆栽培研修、水稻土壌改良剤の散布、視察研修、春・秋作業等を行った。</li> </ul>				
	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	2,549	2,338	2,338
補助金	2,490	2,265	2,265
その他	59	73	73
合計(A+B)	3,989	3,778	3,778
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,989	3,778	3,778
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
ふれあい農業まつり開催	回	1	1	1			
無人ヘリコプター農業散布	ha	302	350	400			
大豆栽培研修	回	1	2	2			
土壌改良剤の散布	ha	8	10	12			
視察研修	回	0	1	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
・ふれあい農業まつり集客数	・農業まつりについては、地域間交流等を目的としているため観光レクリエーション入込を指標とする。	人	1500 目標 ( )	2000	2300
・農作業受託面積	・担い手センターでは、農業者の高齢化、後継者不足の現実から農作業受託面積を指標とする。	ha	30 防除 目標 ( )	350	400

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度に第1回農業まつりとして開催され、その後、実行委員会が組織され、ふれあい農業まつりとして継続されてきた。年々参加者の数が多くなり、また、人権問題や環境面をPRするコーナーなどもうけ地域間交流の場として定着をしてきたところである。</li> <li>いがまち担い手センターは平成4年に設立され平成17年度で14年目を迎えている。農作業の受委託だけでなく、転作作物である、集団大豆に対応した機械銀行制度も設置し生産調整政策への対応も行っている。</li> </ul>
--

評価	必要性	4	総合評価
	有効性	4	
達成度	3		
効率性	3		

・ふれあい農業まつりとして実行委員会を組織して継続されてきた。今後も、一層の地域間交流を深めるため継続して実施する考えです。事業費内訳(補助金240千円、実行委員会負担金40千円)  
 ・いがまち担い手センターは、農業者の高齢化、後継者不足といった現状の課題に対応し、健全な農業生産条件を守るため継続が必要です。